

No.	時間	映像内容	ナレーション
1	0:00:00		
2	0:00:07		この動画では、小学生 理科「流れる水のはたらき」での実際の授業を例に防災教育の授業の進め方をご紹介します
3	0:00:20		この動画の流れは次の通りです 今回例とする実験を含む小単元の位置づけを確認した後、実験と防災教育の関係に注目して実際の実験の進め方と各シーンで使用する教材の使用例を見ていく構成です
4	0:00:43		今回は4部構成の単元「流れる水のはたらき」の第3次「水の流し方を変えて流れる水のはたらきを調べよう」の実験を中心に防災教育の実践方法を見ていきます
5	0:01:02		今回例とする実験では、小単元全体で学ぶ内容の理解を助ける他に、防災教育の一環として取り組むことで災害に関する現象を体感しながら防災と結び付けて学ぶ役割が期待されます
6	0:01:21		今回は、実験を【準備】・【実施】・【まとめ】として整理し、防災教育の関係に注目して順にみていきます
7	0:01:34		始めに、自然災害がどのような地形・条件の下で起こりやすいか、これまでの学習をもとに児童から意見を挙げさせます ここでは、土地の傾きと水の量について考えます
8	0:01:52		この時、山と平地の違いで考えさせたり
9	0:01:57		平常時と大雨の時の川のの違いで考えさせる等して、児童が身近な自然現象から現象の特徴を考えられる働きかけをします
10	0:02:10		次に、めあてを確認します 本小単元では、全体で1つのめあてを立て、実験を通して様々な問い掛けを考えていきます
11	0:02:25		めあてを基に、調べる条件と同じにする条件についての話し合いを十分行い、条件制御の視点を明確にして実験方法を考えさせます そして、条件を①②のように設定します
12	0:02:47		また今回の実験では、水の流し方を2種類に変化させて実験します 水の様子や土の様子を詳しく観察するとともに、実際の自然現象をスケールダウンしていることを意識させて現象を体感します
13	0:03:08		それでは、実験実施の様子を見てみましょう 実施の際は、これまでに確認した実験の計画を基に条件を設定しながら進めていきます

No.	時間	映像内容	ナレーション
14	0:03:22		流れる水の速さ、地面の土の様子、カーブの内側と外側の土の削られ方、土の積み方等について先生が適宜問いかけ、観察していきます
15	0:03:39		また、「このような現象が河川で起きた時にどうなるか、その現象を何と呼ぶか」等を問いかけ実際の地形や河川の流域をスケールダウンして実験を実施していることを意識させるように働きかけます
16	0:03:58		なお、今回使用されていた実験器具についても、公開されている資料を参考にして準備することができます
17	0:04:10		次は結果の考察です 振り返りを行った後、実験の実施結果を児童に発表させます また、初めに設定していたためあてを再確認し、問いの解答を導き出します
18	0:04:29		この時、板書計画を参考に、穴埋め形式で板書を示すなど、児童の発言を促しながら問いに対する解答を黒板に整理していきます
19	0:04:44		こうして学習した水の速さや量と流れる水のはたらきの関係を、写真や立体地図などと比べながら実際の河川の様子に当てはめて考えさせます
20	0:04:59		この時、学んだ事と防災を関連づけるような質問を投げかけ、雨天時は川から離れる等の防災の視点を持てるように働きかけます
21	0:05:12		川の危険だけでなく、最後は川がもたらす恩恵についてもおさえ、川との付き合い方について学ぶ予告をして締めくくります また、今回取り上げた様な実験を中心とした授業の他にも、様々な理科の学習と防災教育は関連付けられます
22	0:05:35		いかがだったでしょうか、国土交通省 防災教育ポータルでは今回ご覧いただいたような、授業の事例で使用された各種資料は教材集ページ
23	0:05:50		授業に活用できる様々な資料は素材ページ
24	0:05:56		防災教育の手引きとなる資料は手引きページ
25	0:06:01		最新の取り組み等はトピックスから閲覧いただけます
26	0:06:07		他にも、防災教育ポータルでは防災教育を行う際に参考となる資料を多数掲載していますぜひご活用ください